

マンモグラフィ（乳房エックス線撮影）

日本人女性がかかるがんの中で乳がんは罹患率がトップであり、その**罹患率**は増加の一途をたどっています。年代別でみると40歳代と60歳代の方が多く乳がんにかかっています。マンモグラフィは早期乳がんを発見することができ、死亡率減少に有効であるといわれています。当院は撮影に使用する圧迫板の改良により撮影時の痛みを和らげ、エックス線被ばくを抑え高画質なマンモグラフィが得られる装置AMULET（富士フィルムメディカル）を導入しています。

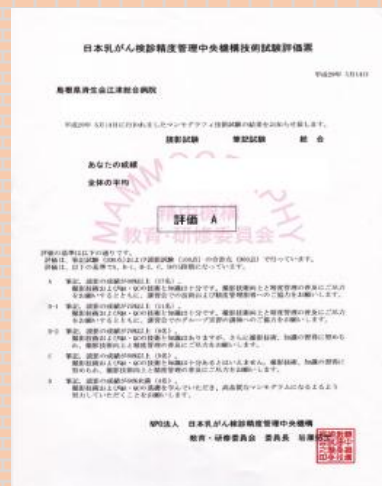


撮影装置

当院は日本乳がん検診精度管理中央機構（精中機構）が行う施設認定を取得しています。これは、マンモグラフィ検診や診療において、撮影技術、装置やマンモグラフィの画像が一定基準を満たした施設に与えられる認定です。また精中機構から認定を受けた、知識と技術を持った診療放射線技師が撮影を行いますので安心して検査をお受けください。



マンモグラフィ検診施設画像認定証



検診マンモグラフィ撮影技師認定証

○検査を安全に受けていただくために

以下の項目に該当する方は事前に撮影者にお伝えください

- ・ペースメーカーを入られている方
- ・脳室-腹腔内シャント（水頭症の手術の経験）がある方
- ・現在妊娠中の方、授乳中の方、断乳して半年以内の方
- ・抗血小板薬を服用されている方
- ・豊胸手術（シリコン注入・シリコンバッグ・生食バッグ・ヒアルロン酸注入等）をされた方